

アマの**こども若もん**をめぐる

行政の取組みの現状を知って、

地域にできることを

少しでもカタチにしていく学習会。

“**不登校**”

今回のテーマは、

アマのこども若もんのために、何かしたいんやけど、そもそも行政ってどんな取組みしてんの？「ちゃんとできてんの？」

そんな思いを抱いてる地域のみなさん！行政がすでにやってること、出来てないことを学んだ上で、その熱意、地域から、いっしょにカタチにしていきましょう！^ 0^ /



尼崎市立地域総合センター神崎

(尼崎市神崎町14-22)



参加無料、事前申込み20人

(手話通訳等を希望される方は、各回14日前までにご連絡をお願いします)



連続参加がおススメですが、

単発での参加も可能です。

第1回

11月9日(金)

18時30分～20時30分

「“不登校”のこどもたちに、
どんなサポート、取組み
してるん？」

(尼崎市こども自立支援担当)



第2回

11月16日(金)

18時30分～20時30分

「思春期のこころの不調、
こどもや家族の声って？」
(尼崎市保健所疾病対策課)



第3回

11月30日(金)

18時30分～20時30分

「新しくできる、子どもの
育ち支援センターって？
地域の役割は？」

(尼崎市こどもの育ち
支援センター担当)

第4回

12月8日(土)

13時30分～16時30分

「“不登校”のこどもたちに
地域でできることを考える。」
(参加者のみなさんで
グループワーク)



第1回 11月9日(金)18時30分～20時30分

「“不登校”の子どもたちに、どんなサポート、取り組みしてるん？」

(尼崎市子ども自立支援担当)

＞不登校は一つの選択肢、学校に戻ることだけが正解ではないはず。尼崎市では、「ハートフルフレンド」や「適応指導教室」等の事業を通して、“不登校”の子どもたちと関わっています。子どもたちがどんな風に過ごしているのか、どんな課題があるのか、全国的にも不登校状態にある子どもたちが多い尼崎の現状を、知ることから。

第2回 11月16日(金)18時30分～20時30分

「思春期のこころの不調、子どもや家族の声って？」

(尼崎市保健所疾病対策課)

＞なにが原因か分からないけど、なんかしんどい、やる気が出ない、学校に行きたくない。自分のこと、家族のこと、友達のこと、学校のこと、思春期のこころの不調は、周りからなかなか理解されにくいことばかり。“不登校”とも関係しているかもしれない。こどもの声、家族の声を聴くことから。

第3回 11月30日(金)18時30分～20時30分

「新しくできる、子どもの育ち支援センターって？地域の役割は？」

(尼崎市子どもの育ち支援センター担当)

＞来年にできる「子どもの育ち支援センター」は、0～18歳までの子どもとその家庭を総合的に支援するワンストップセンター。でも、具体的にどんな仕組みで、どんな役割を果たそうとしているのか、まだまだ見えないことばかり。行政の思いを理解することから。

第4回 12月8日(土)13時30分～16時30分

「“不登校”の子どもたちに地域でできることを考える。」

(参加者のみなさんでグループワーク)

＞“不登校”の子どもたちの現状、これまでの行政施策、これから検討されてる行政の取り組みを学んだ上で、地域で何ができるのか、求められているのかを、参加者みんなでお考えます。

【お問合せ・お申込み】

尼崎市立地域総合センター神崎

電話/ファクシミリ

06-6499-3500(平日9時～17時)

メール qqku9sw9k@clock.ocn.ne.jp

*会場には車いす用の駐車場しかありません。その他の方は、近くのコインパーキング等をご利用ください。

*大雨/洪水/暴風警報いずれかが発令された場合、事業を中止しますので、ご了承ください。

